

岡垣の教育 岡垣東中学校⑧

— 創立10周年ころまで —

岡垣歴史文化研究会 入江 東樹



▲バスケットボール部。卒業アルバム(1989年度)から援用

今夏、東中から中体連の全国大会に出場した生徒達がいた。それを知ったのは、学校下のガードレールに、出場を祝す横断幕が掲げられていたからである。バドミ

ントン(女子団体)と陸上である。出場者名などは、広報おかがき9月25日号に掲載されている。

「東中だより」9月号には、夏の中学生大会結果が報告されている。運動部の活動が、盛んだということが分かる。

ここからは創立8年次の部活動の様子を、東中校友会誌「やはぎ」第4号をもとに紹介する。

運動部はテニス(男女)、野球(男子)、柔道(男子)、バレーボール(男女)、バスケットボール(男子)、バドミントン(男女)、剣道(男子)、陸上(男女)、卓球(男女)、水泳(男女)があった。文化部では美術、手芸、演劇があった。各部の様子を、3年生が匿名で報告している。要約して紹介する。

【テニス部】3年間の思い出の1つは、新人戦で県大会に出場できたことである。まさかと思っていたので大喜びした。

夏季大会では、筑豊大会でベスト8に入る好成績を残すことができた。

【野球部】1年のときは声出しとボール拾いが続いたので、辞めたいと思ったこともあった。2年から、キャッチボールやバッティングがやれるようになり、うれしくなった。最後(3年)の夏季大会では1回戦で負けたが、青春の1ページとなった。

【バスケットボール部】部活動は、6月のオープン戦、7月の夏季大会、11月の新人戦に向けて練習する。バスケの技を学ぶだけでなく、体づくりや我慢することも鍛えられた。そのことが、勉強にも気合いが入った。

【剣道部】3年の部員は自分1人だったので、さびしかった。後輩たちが元気づけをしてくれた。チームワークを生かし、県大会に出場することができた。

【バドミントン部】3年間厳しい練習を積み重ねたけど、いい成績を残せなかった。でも、みんながんばったし、部活は楽しかった。

【陸上部】個人の練習が主だったが、兄弟みたいに楽しくやれた。3年最後の夏季大会では、県大会に数人出場することができた。

【水泳部】3年になったとき、2年

生の部員が1人もいなかったのので廃部を心配したが、1年生が大勢入ってくれた。来年は地区や県大会の出場を目指してほしい。

【卓球部】学校の体育館では練習が足りないの、町内のクラブで練習したこともある。夏季大会の前は燃えて練習したが、敗れた。でも、部活動はいい思い出だ。

【バレーボール部】入部当時は「どしろ」とだったが、厳しい練習の結果、新人戦やオープン戦、夏季大会ともに、遠賀郡・中間市の大会で準優勝できた。

【柔道部】体育館での練習ができず、町のクラブに入って練習した。部員が少なくなって、5人になった。新しい部員の加入を願う。

【美術部】波津スケッチに行ったことや1・2年のとき、合宿で「七宝焼き」をしたことなど、いろいろ体験できた。

【手芸部】夏休みに「ろうけつ染め」をした。文化祭前にパジャマやぬいぐるみを作った。自作のパジャマは世界で1枚しかないの、ルンルン気分だった。

【演劇部】部員が9人だった。文化祭では劇ができなかった。来年に期待していたが廃部になった。残念だ。